

# 台中の「宮原眼科医院」から 「宮原眼科アイスクリーム」への歩み

王 敏東

台中科学技術大学 応用日本語学科

## 1. はじめに

2011年末に、台中駅の近くに“宮原眼科”<sup>1)</sup>というアイスクリームの店がオープンし、開店直後より注目を浴びている。まず、店名は“眼科”なのに、病院ではないこと、また、台湾の“眼精吃冰淇淋”<sup>2)</sup>(男性がセクシーな女性を見た時のたとえに用いる「目でアイスクリームを食べる」という表現からの連想、そして、店の玄関のインテリアが映画『ハリー・ポッター』の Hogwarts School of Witchcraft and Wizardry)に似ていることや、アイスクリームが多種多様かつゴージャスでおいしいことなど、いずれも話題となっており、1日に2千人以上の来客があるという<sup>3)</sup>。

実はこの、アイスクリームをはじめとし、チョコレートや、台湾名物のパイナップルケーキ(中国語名“鳳梨酥”)<sup>4)</sup>、台中名物の太陽餅、さらに蜂蜜などいろいろな甘いものを販売している複合式の飲食店は、1927年に建てられた宮原眼科医院の古い建物を改装したものであるところから、“宮原眼科”と名付けられているのである<sup>5)</sup>。今は眼科病院でないため、「眼科」と名乗ることは誤解を招きやすく、台湾の“医療法”に違反<sup>6)</sup>している、という声もあった<sup>7)</sup>が、台中地方政府は古い建物を生かして地方の繁栄を促進している<sup>8)</sup>などの理由で、業者に“宮原眼科”を古跡の登録に申請するように進言するなど協力的な態度を見せている<sup>9)</sup>。その一方で、商品に記された、「太らない」を意味する“発胖不用”という字面が無実の広告とされ、台湾衛生署に4万台湾元の罰金が取られた<sup>10)</sup>。このような“宮原眼科”に関する情報

は、日本でも報道されており<sup>11)</sup>、その人気は未だ衰えていない。2012年10月13日(土)には中天テレビ局で「不看病的眼科 販售城市記憶与台湾創意」([http://www.ctitv.com.tw/newchina\\_video\\_c134v100233.html](http://www.ctitv.com.tw/newchina_video_c134v100233.html))という約8分の特集が放送された<sup>12)</sup>。

では、この台湾の日本統治期に建てられた医院はどのようなものであり、そしてその持ち主だった宮原とはどのような人物であったのか。以下、病院の創立者である宮原武熊と宮原眼科病院の2節に分けて述べていく。

## 2. 宮原武熊氏について

宮原武熊氏は明治7年(1874年)12月13日に鹿児島で眼科医<sup>13)</sup> 勇輔の4男として生まれた。幼少時から聡明だとされていた宮原は、1900年に愛知県立医学校を卒業してから故郷で開業している。しかしほどなく東京大学医学部選科に入り、河本博士に師事、翌1901年に卒業した。3年後にまた自費でドイツのミュンヘン大学に2年間留学し、ウィーン大学の眼科やベルリン大学の眼科でも学び、1907年末に帰国している。その後はしばらく鹿児島市で開業していたが、1917年に九大医科の眼科学及生理学教室<sup>14)</sup>、1918~1923年東京帝国大学伝染病研究所で研究活動を行っており<sup>15)</sup>、1923年6月に『過血糖動物眼球の対炎抵抗力減弱並に全眼球炎の成因に関する実験的研究』で東京帝国大学医学博士号を取得した<sup>16)</sup>。沖縄那覇、東京で開業したこともある<sup>17)</sup>。

同じ鹿児島出身の、15歳も年下の妻政子を持ち、1913年に娘を授かった。娘の美佐子は鹿児島高女を卒業し、医学博士の福島鉄哉<sup>18)</sup>に嫁いだ<sup>19)</sup>。

この時期の宮原武熊の研究成果は『実験医学雑誌』で見られる<sup>20)</sup>。

1924年11月に宮原は台湾全島の医学大会に東京代表として出席するために台湾を訪れた<sup>21)</sup>。翌年の1925年7月に、台湾に派遣され<sup>22)</sup>、1926年2月までの間総督府台南医院眼科医長をつとめていた<sup>23)</sup>。期間中、台湾の原住民の眼疾研究に没頭し<sup>24)</sup>、医学用語としてなるべく日本語を使用することをも主張している<sup>25)</sup>。宮原の研究の一部分は『台湾医学会雑誌』に残されている<sup>26)</sup>。なお、1925年10月の台湾在留中に従6位が叙されている。

台南の仕事を終えてしばらく日本に戻っていた<sup>27)</sup>宮原は、53歳となった1927年にまた渡台し、今度は台中に長く住んでいた。例の宮原眼科医院は1930年にすでに存在している<sup>28)</sup>。台中に移って間もないうちから、多くの患者が押し寄せ<sup>29)</sup>、評判も高かった<sup>30)</sup>という。

1929年に台中市医師会長<sup>31)</sup>になった宮原はただの眼科医にはとどまらず<sup>32)</sup>、政界にも進出しており、ゴム産業にも携わっていた<sup>33)</sup>。たとえば、1931年に台中州協議会員<sup>34)</sup>、1933年に台中州会議員<sup>35)</sup>をつとめていた。とくに1933年12月には台湾中部の内台人同志と相謀し、東亜共栄協会を組織し<sup>36)</sup>、評議員となり活躍していた<sup>37)</sup>。このような豊かな経歴に相応しく、宮原は相当な資産を有しており<sup>38)</sup>、宮原眼科が窃盗に遭ったこともある<sup>39)</sup>。

宮原の政途については、当然眼科の専門知識を生かしているようで、たとえば小公学校におけるトラホーム患者の取り扱い方等について当局の所見を問いただしている<sup>40)</sup>。しかし、もめごとや非難もあった。たとえば、1898年にすでに公医として台湾中部に来ていた安田稲実<sup>41)</sup>との論争があり、この論争によって宮原は一層有名になったと言われている<sup>42)</sup>。また、宮原の台湾中部にある観光名所の日月潭を貶した説は、山下金二氏等から反駁されている<sup>43)</sup>。なお、宮原は皇紀および国家を否認するような発言により、台中郷軍分会顧問を辞退させられるところにまで至ったこともある<sup>44)</sup>。さらに、氏の東亜共栄協会については「成立の当初からいろいろと不純の動機が含まれてお

り」、「機関紙が営利事業になってしまい」、「宮原氏がロボットに等しい存在と化してゐる」などと評されている<sup>45)</sup>。

『台湾日日新報』では1941年6月24日以降、宮原武熊の名前が見られなくなった。が、1945年の約1年間宮原は台中商業専修学校(2012年現在新民高校)の校長をしていた<sup>46)</sup>。

終戦後の1946年に、林献堂<sup>47)</sup>等は国民党政府に、73歳になった宮原武熊およびその家族を善良な人とし、日本に返還せずに台湾に留用するような一書を呈した<sup>48)</sup>。しかし、役には立たなかった<sup>49)</sup>。

### 3. 宮原眼科医院について

前節(2. 宮原武熊氏について)にも触れたように、宮原は相当な資産の持ち主とみなされ、宮原眼科医院が窃盗に遭ったこともある。窃盗犯が捕まったことを記事にした1938年10月9日『台湾日日新報』「……二階客室から博士令嬢所有のクローム時計と現金三円を窃取した……」によれば、この建物は2階建てであったことが分かる。

また、王(2009)が例の「宮原眼科アイスクリーム」がオープンされる前に、この医院について詳しく調査・報告している。王(2009: 319)が指摘しているように、『台中市管内概況』(1985: 76)では宮原眼科病院に関する昭和8年の記録が見られ<sup>50)</sup>、百人の患者が受け入れ可能であり24もの病室を有するかなり大型の医院であったことが分かる<sup>51)</sup>。この病院の様子は、その大きさも含め俳句に取り入れられたことがある。1931年4月1日に台湾で刊行された『あらたま』10(4)に発表された豊永静江の「宮原眼科医院にて 展望台に上りは来つれうつむきて行きつもどりつただあゆむのみ わびしさに娯楽室に入れば片眼繻帯の患者さしむかい碁をうちてをり 我が家の事に思のむかぬようつとまつつ治療にはげみるなり」などである<sup>52)</sup>。この作品からは、宮原眼科医院に展望台や娯楽室があることがうかがえる。王(2009: 319~320)はさらに建築学の視点でこの建物を、たとえば大正・昭和期でよく見掛けるアールデコのスタイル、1階がイオニア式の柱になっている、



- 12) 司会者陳文茜氏は台湾の政治界や文学界で活躍している名高い人である。
- 13) 『台湾の中心人物』(『台湾人物誌』)によると、宮原武熊は「三代前より代々眼科医」だそうだ。
- 14) 1925年9月27日「博士列傳【二一】医学博士 宮原武熊」『台湾日日新報』。
- 15) 1925年9月27日「博士列傳【二一】医学博士 宮原武熊」『台湾日日新報』。ただし、『新台湾を支配する人物と産業史』、『台湾人士鑑』、『台湾人事態勢と事業界』(いずれも『台湾人物誌』)には「1918~1924」となっている。
- 16) 1925年9月27日「博士列傳【二一】医学博士 宮原武熊」『台湾日日新報』。
- 17) 1925年9月27日『台湾日日新報』の「博士列傳【二一】医学博士 宮原武熊」に氏が「那覇に赴いて一般診療の傍ら学術研究をなす」、1924年春から「上京し、新宿の御苑前で開業し」た経歴に触れられている。『台湾の中心人物』(『台湾人物誌』)では氏が那覇で開業したのは1923年のことだと述べられている。また、前記宮原武熊が生まれてからの履歴は『台中県志』(1989: 214)にも見られる。
- 18) 福島鉄哉の論文にはたとえば次のようなものがある(独立行政法人科学技術振興機構およびCinii)。  
1936年「腸管ノ脂肪吸収ニ関スル実験的研究」『日本消化機病学会雑誌』35(5)、  
1950年「ストレプトマイシンの「アストール」による吸入療法〔予報〕」『鹿児島医学雑誌』23(1)、  
1950年「アストール吸入装置による百日咳の新療法—第16回鹿児島市医学会」『鹿児島医学雑誌』23(6)、  
1950年「百日咳に対する「ストレプトマイシン」の「アストール」による吸入療法〔第1報〕附余の考察せる「アストール」吸入装置に就て」『鹿児島医学雑誌』23(6)、  
1950年「余の考察せる十二指腸ゾンデに就いて」『鹿児島医学雑誌』23(8・9)、  
1951年「肺結核治療に対する私の考え方」『鹿児島医学雑誌』24(2・3)、  
1951年「百日咳に対するストレプトマイシンのアストールによる吸入療法」『鹿児島医学雑誌』24(9)、  
1951年「福島式アストール吸入装置に就いて」『医科機械学雑誌(復興8号)』13。
- 19) 宮原武熊の妻女については『大衆人士録—外地海外篇』(『台湾人物誌』)による。ただし、『台湾人士鑑』(『台湾人物誌』)では妻の名前は「政」で、娘の名前は「美佐」となっている。
- 20) 1923年「除虫菊浸出液ノ二三「スピロヘータ」ニ及ボス実験的研究(第一回報告)」『実験医学雑誌』7(1)、1923年「過血糖動物眼球ノ対炎抵抗力減弱並全眼球炎ノ成因ニ関スル実験的研究」『実験医学雑誌』7(10)、1923年「過血糖動物眼球ノ対炎抵抗力減弱並全眼球炎ノ成因ニ関スル実験的研究」『実験医学雑誌』7(11-12)(いずれも独立行政法人科学技術振興機構)。
- 21) 1924年11月13日「不明熱特效薬と花柳病の予防法を齎した宮原、橋本二博士」、同日「宮原武熊氏(医学博士)」『台湾日日新報』。
- 22) 1925年7月28日「医長理事官任命」『台湾日日新報』、『台湾紳士名鑑』(『台湾人物誌』)など。氏が台湾に赴いたのは旅行が好きなら南国に好奇心があるからだという(1925年9月27日「博士列傳【二一】医学博士 宮原武熊」『台湾日日新報』)。
- 23) 1927年7月8日「遭難琉球民の記念碑を建立すべく来台した宮原博士 遭難史実の誤謬も発見したと」『台湾日日新報』、『大衆人士録—外地海外篇』(『台湾人物誌』)。しかし、『台湾大学数位典藏資源中心』では「病院の院長」と間違っており、おそらく「医長」という言葉への誤解によるだろうと思われる。また、『新台湾を支配する人物と産業史』、『台湾人士鑑』、『台湾人事態勢と事業界』、『台湾人事態勢と事業界』(ともに『台湾人物誌』)には1926年に依願免官とある。
- 24) 1927年7月8日「遭難琉球民の記念碑を建立すべく来台した宮原博士 遭難史実の誤謬も発見したと」『台湾日日新報』。
- 25) 1925年11月17日「無絃琴」『台湾日日新報』。
- 26) 1925年『台湾医学会雑誌』24に「急性伝染病後ニ起ル硝子体濁濁症ノ成因ニ関スル実験的研究(第一回報告)」という宮原の講演の内容が記録されている(『台湾医学会雑誌資料庫』)。
- 27) 東京で開業していた(台湾大学数位典藏資源中心)。
- 28) 1930年10月25日『台湾日日新報』に台中市橋町宮原医院入院中の下松カズエが金時計を盗まれた事件が報道されている。
- 29) 『台湾人物展望』(『台湾人物誌』)によれば一日に百数十人を超えていたという。『中部台湾を語る』(『台湾人物誌』)によると、とくに台湾本島人患者が多いとも言われている。
- 30) 『新台湾を支配する人物と産業史』(『台湾人物誌』)。
- 31) 『台湾紳士名鑑』(『台湾人物誌』)。
- 32) 眼科医としてたとえば1931年12月1日の『社会事業の友』に、宮原眼科医院に行ったことにより助かり宮原博士に感謝した、という旨の文章(「悲嘆に暮る、失明者を救ふ」)が掲載されている。また、「昭和七年五月眼を病みて台中宮原医院に入院せし頃の苦いおもひ出」の「三行歌吾兒」(1933年7月1日『台湾鉄道』(『日治時期期刊全文影像系統』))も見られる。なお、1932年6月6日の『社会事業の友』に宮原の「失明防止に就て」の論考が見られ、フランス、イタリア、ベルギー、ギリシャ、インドなどのデータを取り上げ、「台湾は世界一の盲人国」と指摘しており、1934年9月14日の『台湾婦人界』(『日治時期期刊全文影像系統』)に「明眸を語る」も発表している。
- 33) 『大衆人士録—外地海外篇』(『台湾人物誌』)。
- 34) 1931年3月26日『台湾日日新報』。また、1934年9

- 月5日『台湾日日新報』の「新人抜擢か 台中州協の改任に当り」に「……宮原武熊氏等も後進に道を開く為勇退を表明するものと見られてゐる」とある。
- 35) 『台湾紳士名鑑』(『台湾人物誌』), 1931年3月26日『台湾日日新報』など。また、1943年1月に「台中州議員 宮原武熊」が「新高開発会社への希望」を『台湾時報』で発表している。
- 36) この協会は1933年末に、「内台融和、共存共栄をモットーとして生まれた」という(1936年6月1日「廂を貸して母屋を取られる 東亜共栄協会の現状」『台湾公論』1(6)(『日治時期期刊全文影像系統』)), 張(1998: 605, 付録18)など。1934年5月9日『台湾日日新報』の「東亜共栄協 南投支部創立総会」で会員千名が同6日に行なわれた創立総会に出席したということが報道されている。張(1998: 付録21)によると、東亜共栄協会は1935年9月末までにすでに万人以上の会員をあつめたという。
- 37) また、前記宮原武熊が台中に来てからの履歴は『台中県志』(1989: 214)にも見られる。
- 38) 『台湾の中心人物』『現代台湾史』(『台湾人物誌』)。
- 39) 1938年10月9日『台湾日日新報』。
- 40) 1934年12月14日「宮原氏が日月潭を貶す」『台湾日日新報』。
- 41) 安田稲実は宮原と同じ年生まれの医師(鹿港公医, 台中監獄医務嘱託を歴任し, のち台中で開業)で, 台中州協議会員, 台中州会議員をも務めていた(『台湾紳士名鑑』『南部台湾紳士録』『大眾人士録』など(『台湾人物誌』))。
- 42) 『中部台湾を語る』『台湾人物展望』(『台湾人物誌』)。安田と同じ新聞記事に見られるのはたとえば『台湾日日新報』の、1934年12月15日「台中州協議會(最終日) 議員質問者百出」, 1939年1月26日「台中州州会 梧棲築港実現を祝し当路に謝電 きのふから開催」などがある。
- 43) 1934年12月14日「宮原氏が日月潭を貶す」『台湾日日新報』。山下金二は宮原より9歳年下で, 同じく鹿兒島の出身で, 台中州会議員, 台中州協議会員でもあった。渡台時間は宮原より早い1909年で, 新高拓殖軌道株式会社支配人でもあった(『台湾紳士名鑑』『新台湾を支配する人物と産業史』(『台湾人物誌』))。山下は従来「日月潭巡環道路の完成に深き関心を」持っていたという(『新台湾を支配する人物と産業史』『台湾人士鑑』(『台湾人物誌』))。
- 44) たとえば1936年10月8日「郷軍台中分会 將勸宮原氏 辞退顧問」『台湾日日新報』。
- 45) 1936年6月1日「廂を貸して母屋を取られる 東亜共栄協会の現状」『台湾公論』1(6)(『日治時期期刊全文影像系統』)。また、同年11月1日発行の同誌1(11)に「東亜共栄協会の大看板 共存共栄の文字はいつの間にやら偏存偏栄の白蟻に喰ひ潰されてゐた」という文章が掲載されている。また、張(1998: 608, 614~618)でも、東亜共栄協会が成立した当初より日本側の右翼に反対・非難されていたような記述が見られる。
- 46) 新民高校 <http://web6.shinmin.tc.edu.tw/history/history.html>。医学専門の宮原が商業学校の校長になった理由について、王(2009: 320~321)は宮原の著書である『躍進泰国の全貌』『タイの資源』のいずれも商業や経済の発展と深くかかわっているから、商業学校の校長になっていてもおかしくないと述べている。しかし、管見の限り、『躍進泰国の全貌』の作者は宮原武熊でなく、宮原武雄である。「熊」と「雄」とは中国語の発音は同じせいで、王(2009: 320~321)のような間違いを犯したのだらう。ちなみに、筆者が昭和18年出版の『タイの経済資源』を確認したところ、宮原武雄は「大正十二年慶応大学理財科卒業、直ちに三井に入り累進して三井タイ室東京事務局長に昇任、昭和十八年財団法人タイ室東京事務局長に拡大改組と同時に理事長に就任す。昭和十五年外務省嘱託として渡タイし、タイ佛印国境紛争調停会議タイ国政府顧問を委嘱せらる。現大政翼賛会参与、其他五六の公私委員たり。著書には『タイ案内』・『タイ国風物詩』・『タイ国交通現勢』・『タイに於ける主要資源』等あり。」と分かる。また、台湾文化部地方文化館のホームページも「宮原武雄」と間違っている(2012年10月23日に検索)。
- 47) 林(1881年12月13日~1956年9月8日)は台中霧峰の出身で、1905年に紳章を授与された。現在台中一中の前身である公立台中中学の設立に貢献し、民族運動や漢文化の保存に力を入れ、戦後国民党政府の台湾省参議會議員、台湾省政府委員などを歴任したが、二・二八事件で1949年に9月23日に日本へ行ったきりだった(『台湾大百科全書』または『日本人人名大辞典』、『国史大辞典』(ジャパンナレッジ プラス Japan Knowledge<sup>+</sup>)など)。
- 48) 林献堂・葉榮鐘等(1946)「呈請留住善良日僑」。
- 49) 王(2009: 324)。
- 50) ただし、前掲注28に示したように、『台湾日日新報』により、昭和8年より前の1930年にはすでに宮原医院が存在したことを確認できた。
- 51) 『台中市管内概況』(1985: 76)。また、比較するために、当時の府立台中医院は146名の患者が受け入れられると王(2009: 319)も述べている。
- 52) 豊永静江は宮原眼科病院を主題に他に「宮原医院にて(二) 一つの部屋の老婆の患者と朝餉後を長き廊下に来てあゆむなり 片眼帯を静かにはづして歩を止めて我が顔をのぞく老婆の患者 あら、あなたの顔が見えるよと老婆の患者の顔かがやけり 部屋にかへりてもなほ窓よのぞき向ふ家の看板も見ゆと老婆はいふも 病める眼をしづかにふせて黙しをれば我が眼のさまぞうかび見ゆなり」(1931年5月7日『あらたま』10(5))、「台中宮原医院にて日頃親しみ

し今村校長 先生御家族の御転勤を聞きて お別れと聞きてぞ我はしみじみと日頃のおなさを身に感じをり」(1931年6月15日『あらたま』10(6)),「宮原医院(四) 眼を病める我等つどひてにぎやかにはつなりの水瓜をいただきにけり 深夜中を起きいでてなす器法のうつはに月の照りくもりせり 照りくもる月を親しみ吾が居ればくだかけが今鳴きいでにけり 背の君の夢にめぎめてつぎつぎに雑念のおきていねがたくをり」(1931年7月5日『あらたま』10(7)), なども発表している。豊永のこれらの詩には宮原眼科における様々な風景が見られる。なお、前掲『あらたま』はすべて日治時期期刊全文影像系統に収録されている。

- 53) 文末付録の、筆者が撮った2012年11月現在の写真を参照。
- 54) 台湾の医療テレビドラマ『白色巨塔』(日本語名『ザ・ホスピタル』)に出演している女優張均甯のおじいさんに当たるという説がある (<http://www.ningchang.net/forum/viewthread.php?tid=6921&extra=page%3D1>)。
- 55) 王(2009: 318)が2009年3月という時点に行った時の報告である。
- 56) 日出という台湾の食品企業である。
- 57) 楊(2012)や、前掲(1. はじめに)2012年10月13日(土)中天テレビ局によって放送された「不看病的眼科 販售城市記憶与台湾創意」などが詳しい。
- 58) 2012年10月現在建物の表に掲示されている説明による。詳細は文末付録の筆者が撮った2012年10月現在の写真を参照。また、台中市長公館一官邸花園厨房のホームページ (<http://www.bikelane.org.tw/bikelane/page5-63.asp>)にも1929年に建てられたと示されている(2012年10月26日に検索)。
- 59) 王(2009: 328)。
- 60) 文末付録の筆者が撮った2012年11月現在の写真を参照。

## 参考文献

### 日本語

- 国史大辞典. <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>
- 台湾医学会雑誌資料庫.  
<http://ci22.lib.ntu.edu.tw/fjomapp/start.htm>
- 台湾時報. <http://ci22.lib.ntu.edu.tw/twjhoapp/start.htm>
- 台湾人物誌.  
<http://p8080-tbmc.ncl.edu.tw.erm.lib.mcu.edu.tw:81/whos2app/start.htm>
- 台湾日日新報.  
<http://p8000-120.96.119.4.erm.lib.mcu.edu.tw:81/>
- 台湾近代医療文物資料庫系統.  
[http://140.112.128.4/cgi-bin/g32/g3web.cgi/ccd=5fNP\\_G/main?db=alldb&menuid=ntumed%20ntumedbook%20ntumedjour%20ntumedpic#result](http://140.112.128.4/cgi-bin/g32/g3web.cgi/ccd=5fNP_G/main?db=alldb&menuid=ntumed%20ntumedbook%20ntumedjour%20ntumedpic#result)
- 独立行政法人 科学技術振興機構.

- [http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/top\\_ja.php](http://www.journalarchive.jst.go.jp/japanese/top_ja.php)
- 日治時期期刊全文影像系統.  
<http://stfj.ntl.edu.tw/cgi-bin/g32/g3web.cgi/login?o=dwebmge>
- 日本人名大辞典. <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>
- 宮原武雄. タイの経済資源. 東京: 東亜政経社; 1943
- ジャパンナレッジ プラス Japan Knowledge<sup>+</sup>.  
<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>
- Cinii. <http://ci.nii.ac.jp/>

### 中国語

- 王派仁. 在紅磚拱廊下尋找宮原武熊. 台中市第十二屆大墩文學獎 作品集. 台中: 台中市文化局; 2009. p. 316-333
- 国史館台湾文献館數位典藏整合查詢系統.  
<http://ds2.th.gov.tw/ds3/>
- 台中県志編纂委員会. 台中県志. 台中: 台中県政府; 1989
- 台中市役所. 台中市管内概況. 台北: 文成出版社; 1985
- 中天テレビ局. 不看病的眼科 販售城市記憶与台湾創意; 2012年10月13日.  
[http://www.ctitv.com.tw/newchina\\_video\\_c134v100233.html](http://www.ctitv.com.tw/newchina_video_c134v100233.html)
- 張深切. 張深切全集 里程碑(下). 台北: 文経社; 1998
- 郝雪卿. 「宮原眼科太紅 蔡炳坤親考察」中央通信社; 2012年6月11日.  
<http://tw.news.yahoo.com/%E5%AE%AE%E5%8E%9F%E7%9C%BC%E7%A7%91%E5%A4%AA%E7%B4%85%E8%94%A1%E7%82%B3%E5%9D%A4%E8%A6%AA%E8%80%83%E5%AF%9F-120108918.html>
- 華視ニュース. “発胖不用” 冰淇淋 不誠実罰4万; 2012年6月5日.  
<http://tw.news.yahoo.com/%E7%99%BC%E8%83%96%E4%B8%8D%E7%94%A8-%E5%86%B0%E6%B7%87%E6%B7%8B-%E4%B8%8D%E8%AA%A0%E5%AF%A6%E7%BD%B04%E8%90%AC-040000854.html>
- 新民高校. <http://web6.shinmin.tc.edu.tw/history/history.html>
- 台中市長公館一官邸花園厨房.  
<http://www.bikelane.org.tw/bikelane/page5-63.asp>
- 台湾大学數位典藏資源中心.  
<http://www.darc.ntu.edu.tw/simple-search?query=%E5%AE%AE%E5%8E%9F%E7%9C%BC%E7%A7%91&forwardTo=/newdarc/darc-result.jsp&doTreeView=true&start=null>
- (台湾) 文化部. 台湾大百科全書.  
<http://taiwanpedia.culture.tw/web/about>
- (台湾) 文化部地方文化館.  
[http://superspace.moc.gov.tw/jp/local\\_culture\\_page.asp?rid=108](http://superspace.moc.gov.tw/jp/local_culture_page.asp?rid=108)

台湾文学誌「陳文茜」.

[http://www.rti.org.tw/ajax/recommend/Literator\\_content.aspx?id=219](http://www.rti.org.tw/ajax/recommend/Literator_content.aspx?id=219)

張均甯 Official Web Site.

<http://www.ningchang.net/forum/viewthread.php?tid=6921&extra=page%3D1>

唐在馨・王昶閱. 台中「宮原眼科」売冰淇淋 盛「名」惹風波. 自由時報；2012年6月12日.

<http://tw.news.yahoo.com/%E5%8F%B0%E4%B8%AD-%E5%AE%AE%E5%8E%9F%E7%9C%BC%E7%A7%91-%E8%B3%A3%E5%86%B0%E6%B7%87%E6%B7%8B-%E7%9B%9B-%E5%90%8D-%E6%83%B9%E9%A2%A8%E6%B3%A2-202345642.html>

東森ニュース. 老建築拉皮大變身 眼科變高級糕餅店；2012年3月23日.

<http://tw.news.yahoo.com/%E8%80%81%E5%BB%BA%E7%AF%89%E6%8B%89%E7%9A%AE%E5%A4%A7%E8%AE%8A%E8%BA%AB-%E7%9C%BC%E7%A7%91%E8%AE%8A%E9%AB%98%E7%B4%9A%E7%B3%95%E9%A4%85%E5%BA%97-020129206.html>

民視ニュース. 冰淇淋吃不胖？ 告不實開罰；2012年6月6日.

<http://tw.news.yahoo.com/%E5%86%B0%E6%B7%87%E6%B7%8B%E5%90%83%E4%B8%8D%E8%83%96-%E5%BB%A3%E5%91%8A%E4%B8%8D%E5%AF%A6%E9%96%8B%E7%BD%B0-060247915.html>

楊泰興. 旧眼科等到了新眼光！ 台中文創新亮點 宮原眼科 売冰淇淋更売文創. 遠見雜誌. 313；2012年7月1日. <http://udndata.com/library/>

林獻堂・葉榮鐘等. 1946. 呈請留住善良日僑. 清華大學圖書館數位典藏系統. <http://pesto.lib.nthu.edu.tw/newX/ug1/picture.jsp?filename=001-01020012001001.jpg&mrn=1502>

TVBS ニュース. 冰淇淋吃不胖？ 業者廣告不實罰4万；2012年6月5日.

<http://tw.news.yahoo.com/%E5%86%B0%E6%B7%87%E6%B7%8B%E5%90%83%E4%B8%8D%E8%83%96-%E6%A5%AD%E8%80%85%E5%BB%A3%E5%91%8A%E4%B8%8D%E5%AF%A6%E7%BD%B04%E8%90%AC-014827180.html>

付 録

宮原眼科アイスクリーム  
(2012年11月, 筆者により撮影)



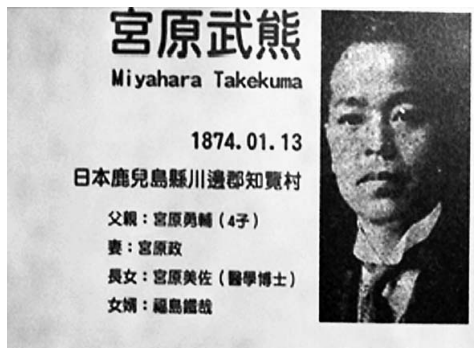
宮原眼科の斜正面



微かに見える正門の上にある「台中市衛生院」



店内1階の売り場



3階の壁に掲示されている宮原に関する資料

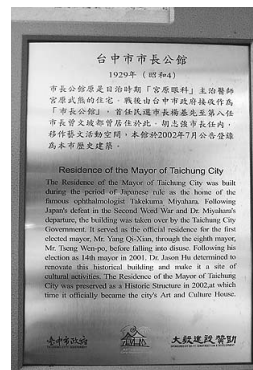
台中市長公館（宮原武熊の住居）—官邸花園厨房  
(2012年10月, 筆者により撮影)



建物全体が見られる台中市長公館の斜め正面



建物の表玄関



入り口の表に掲示されている説明・紹介